

「見て見ぬふりでできない」

担任らに全てを報告

健次が自殺した翌

朝、ホームルームで担任を含むクラス全員が黙とうをささげた。身近な仲間が突然、自ら命を絶ったショックは大きく、多くの子がすすり泣いていた。

担任は生前、健次から「お父さんに厳しくしかられた。どうしよう」と電話で相談されていた。家でも健次の一家のことを話題に上らせ、気に掛けていたつもりだった。

遅刻したてっちゃん

おろか、死を悼むそぶ

や先生、見てても知ら

校長が記者会見でど節目には親しかった

「公表していいか」

(文中仮名)

しまい込んだ メッセージ

大津・いじめ事件

⑥

りも見せない。複数の生徒の目に、異様な光景に映った。

休み時間。「なんで死んだんや」。深い悲しみに浸る生徒らを

「おまえら、そんなに

仲良かったんか」とか

らかい、別のクラスか

ら和成が加わると、主

のいない机の上でトラ

ンプを始めた。

先生が廊下から仁王

立ちでにらみ付けてい

てが、何も注意しなか

った。教室では「なん

い報告した。

初七日、四十九日な

が入った。「事実か」

なるのだろうか」

「いじめは把握していないで発言するなど、

学校側が隠蔽とも受け

取れる対応をしたこと

への不信感も高まって

いた。

自殺の翌日、健次の

祖父母が経営する銭湯

を生徒の親が訪れ、告

げた。「健次君はいじ

め抜かれて死んでいつ

たんで。知らないの

は被害者の親と加害者

の親、そして学校の先

生だけ」

調査を打ち切った。

実名で回答したある

と言いい、新たな証言を

していった。

だが、学校はアンケ

ートで寄せられた情報

を記名／無記名、実際

に見聞き／伝聞でない

と文書で呼び

掛ける。

早期に事態の收拾を

図ろうとする対応に、

健次の父だけでなく、

他の保護者にも違和感

が広がった。「生徒に

悲しむ時間も与えず平

常通りに戻すことが、

本当に子どものために

のかわかっていたのに

拍子抜けした。

学校側は混乱を恐

れ、「うわさに流され

ないで」と文書で呼び

掛ける。

早期に事態の收拾を

図ろうとする対応に、

健次の父だけでなく、

他の保護者にも違和感

が広がった。「生徒に

悲しむ時間も与えず平

常通りに戻すことが、

本当に子どものために

のかわかっていたのに

拍子抜けした。